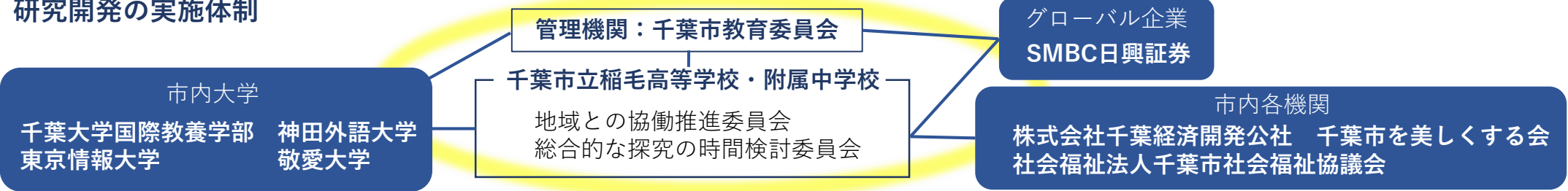


## 2030年の持続可能な地域社会を創生するグローバル・リーダーの育成

### 研究開発の背景

本校は「グローバル・リーダー」の育成を教育目標に掲げ、英語教育及び国際理解教育の先進校として過去にSELHiの指定を受け、先進的な英語教育を実践し、英語によるコミュニケーション能力の育成に大きな成果を挙げてきた。一方、自分の意見を表明したり、相手と粘り強く議論する力や論理的かつ批判的に思考する力、自分たちが住んでいる地域への関心が希薄なことが課題となっている。

### 研究開発の実施体制



### 令和3年度の目標

- ①探究活動の改善および外部との協働の推進
- ②本事業の遂行に関し、各学年・分掌間の協働・連携の促進
- ③中高ならびに教科間のカリキュラムマネジメントの推進
- ④本事業の成果の外部への発信、本事業終了後の計画の立案

### 取組状況

- 事業1「千葉市創生プロジェクト」  
第1学年では身近な千葉市を教材とし課題設定を行い、フィールドワークを含む調査活動を経てその解決策を提言する活動を実施。成果発表過程で大学教授等から指導・助言を受けた。代表班が千葉市長への提言を行った。
- 事業2「SDGsリサーチプロジェクト」  
第1学年12月以降、グローバルな課題と関連付けて、自己の興味関心から主題を設定し、ゼミナール活動を軸として探究を行った。ゼミナール活動では2学年横断の活動となった。第3学年でその集大成としての探究論文を執筆した。また第2学年では普通科の一部と国際教養科でSDGsに関連したグローバル課題について調査研究する探究活動を行い、英語で発表した。
- 事業3 国際交流  
6月以降韓国の蔚山科学高校とのオンライン交流を複数回行った他、10月に東京グローバルゲートウェイ研修を行った。また秋に千葉大留学生を招いての授業を実施した。
- 事業7 グローバル企業訪問  
コンソーシアムの協力のもと、12月に成田国際空港株式会社への訪問を行った他、3月にSMBC日興証券株式会社とのオンライン交流を実施した。

### 成果と課題

- 昨年度の運営指導委員会での指導・助言をもとに、校内の探究活動を計画段階から見直し、よりよいものへと改善をするよう、計画して実施することができた。その結果、成果発表会では調査・発表の質がよくなってきているという評価をいただくことができた。
- 思考力を測定するツール（GPS-Academic）では、昨年度と同様に高校1学年では協働的思考力が、批判的思考力や創造的思考力と比べ高いという傾向だったが、高校2学年は1学年よりもいずれの数値も高い結果となった。
- ゼミナール活動が全学年にわたったため、全職員が指導できるように、定期的な会議を行い、情報共有に努めた。次年度は更に探究活動や国際交流を担当する新分掌を設置して、その分掌を軸に取組を継続していく。
- 来年度4月から中等教育学校化に向けて、本事業の研究開発内容を踏まえて、6年間の探究活動の計画や伸ばしたい資質・能力についての検討を行った。